

# 「次世代機能性農林水産物・食品の開発」

## 公開シンポジウム—得られた成果とさらなる発展に向けて

農林水産物・食品に含まれる様々な機能性成分について、認知(コグニション)低下防止を含めた脳機能改善効果、身体ロコモーション機能向上等の科学的エビデンスの検証、およびその成果を活かした次世代機能性農林水産物・食品の開発・商品化の加速に取り組んできた。本シンポジウムでは、成果の報告とともに、高齢者など、国民に「食と運動」の意義を伝え、その具体的方策の提示と将来展望を紹介する。さらに、生体恒常性(ホメオスタシス)維持に与える効果を主眼に置いて、開発した評価システムにより、次世代農林水産物・食品の有効性を検証した成果も報告する。

**入場無料**  
定員600名  
(事前登録制)

### プログラム

13:00 SIP「次世代農林水産業創造技術」が生み出すイノベーション

13:10 野口 伸(内閣府 プログラムディレクター)



13:10 次世代機能性農林水産物・食品の開発—科学的・社会的貢献

13:25 阿部 啓子(内閣府 サブプログラムディレクター)



#### 農林水産物・食品研究の新たな視点

13:25 ~ 13:50

玄米機能成分による脳機能改善と糖尿病予防  
〜エビゲノム・コントローラーとしてのγ-オリザノールの可能性

益崎 裕章(筑波大学大学院農学研究科 教授)

13:50 ~ 14:15

糖尿病および認知症の複合予防効果の期待される米飯および  
米加工食品開発の試み

大坪 研一(筑波大学大学院生命科学部 教授)

14:15 ~ 14:40

トマトに含まれるトマチジンの筋萎縮抑制効果

三浦 謙司(徳島大学農学部農学系 栄養化学研究室 教授)

14:40 ~ 14:55 (休憩 15分)

#### 魚類の子の脳研究とヒトへの関連性研究 Ⅱ

14:55 ~ 15:20

脳・腸・皮膚の相互作用を利用した精神的ストレスを緩和する  
機能性食品素材の開発

岡山 喜樹(立命館大学 食品開発研究センター 准教授)

15:20 ~ 15:45

抗糖化機能性食品の基礎からヒト臨床研究への橋渡し  
：クロモジに注目

米井 肇一(筑波大学大学院生命科学部 教授)

15:45 ~ 16:10

DHA生産微細藻類の高度利用と機能性

石原 真司(独立行政法人農研機構 水産研究センター 准教授)

#### 運動・技術開発

16:10 ~ 16:40

光センシングによる簡便なホメオスタシス多視点評価システムの  
健康人での有用性検証〜バリデーションとヒト試験結果

飯村 公子(伊藤ハコトニクス(株)) 福川 惟之(内閣府政策評価センター 副所長)

16:40 ~ 17:05

機能性食品と運動トレーニングの併用が高齢者の  
神経筋機能に及ぼす影響

渡邊 誠平(中野大田病院 理学療法士 主任)

森谷 順夫(筑波大学 名誉教授、筑波大学 教授)

17:05 ~ 17:30

時間生物学を利用したマウスからヒトへの機能性食品開発

柴田 謙博(筑波大学大学院生命科学部 教授)

17:30 ~ 17:55

高齢者の身体能力に及ぼす運動×機能性食品の相乗効果  
：時間栄養学・運動学の観点から

川上 肇樹(筑波大学スポーツ科学部 教授)

17:55 ~ 18:00

閉会挨拶 山野井 昭雄

(内閣府 イノベーション戦略コーディネーター)



2017年11月30日(木)

13時~18時(開場:12時15分)

会場:有楽町朝日ホール(有楽町マリオン11F)

<http://www.asahi-hall.jp/yurakuchu/access/>

〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン11F

電話 03-3284-0131

対象:一般(研究担当者、産学連携者、産学企業、マスメディア、その他研究者)

以下URLのホームページへアクセスの上、ご登録ください

<http://www.jba.or.jp/pc/activities/event/>

来場の際には、登録後に自動配信される登録確認メールを印刷したものをお持ちください。なお、定員になり次第、登録を締め切らせていただきます。

お問合せ:(一財)バイオインダストリー協会

SIP事務局:秋元 矢田 TEL:03-5541-2731

主催:内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)次世代農林水産業創造技術「次世代機能性農林水産物・食品の開発」を構成する5つのコンソーシアム

「脳機能活性化コンソーシアム」、「身体・食生活研究コンソーシアム」、「知識・実践・連携強化コンソーシアム」、「ホメオスタシス多視点評価システム開発グループコンソーシアム」、「水利用効率の高度利用を基盤とする次世代水産物の輸出に向けた研究開発コンソーシアム」

共催:産学連携・食品開発研究センター 生物資源科学研究所内閣府センター 監修:農林水産省、経済産業省、スポーツ庁、(一財)バイオインダストリー協会、(財)日本農芸化学会、(財)日本生薬化学会